

「物理的に難しい」

がれき受け入れで四日市市長会見

四日市港
荷揚げ 住民理解が最低条件

【四日市】四日市市の田中俊行市長は二十七日開いた記者会見で、東日本大震災被災地のがれき受け入れについて、「市としては物理的に難しい」とした。一方、仮に県内で受け入れる際の運搬方法については、四日市港で荷揚げする可能性もあるとし、正式な要請はないとした上で、「四日市港を通じてとなると大きな関わりになる。放射能の完全な安全性が担保され、地元住民の理解を得ることが最低条件になる」と述べた。田中市長は、市の埋め立て処分場は数年で限界になり、現在も民間に処埋を委託している状況だとし、「がれきが被災地の復興の妨げになっていることは十分理解しているが、市が受け入れることは難しい」と述べた。